

令和3年7月市長定例記者会見

日 時：令和3年7月1日（木） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、
NHK 富山放送局、エフエムいみず、庄東タイムス

当局出席者：市長、財務管理部長、企画管理部次長、未来創造課長、
環境課長、新型コロナウイルスワクチン接種推進班長

○質疑応答の概要

Q1. 新型コロナウイルスワクチンの今後の接種券発送及び予約スケジュールについて、7月6日から40歳から64歳の方を対象に予約を受け付ける予約枠が、6月29日から40歳から64歳の基礎疾患をお持ちの方の予約の受付でほぼ定員に達しているといった状況とのことだが、基礎疾患のある方をどれくらい想定していたのか。

A1. 40歳から64歳の方で、基礎疾患のある方と基礎疾患のない方の分として約8,000回の予約枠を設定し、見込みとしては、4000回分は基礎疾患をお持ちの方分としていたが思いの外、予約の受付があったということである。こちらの見通しが少し甘かったというところもあるかもしれないが、基礎疾患がある方の状況については、自己申告であることもあり、通常考えていた数より多くの方が基礎疾患があると認識され予約されたということではないかと考えている。

現在、射水市民病院とミライクル館での集団接種会場において、40歳から64歳の方の追加の予約枠を確保できるよう準備を進めているところである。具体的にどれくらいかは現段階では言えないが、希望される方の接種を少しでも進めていけるようにしていきたい。

Q 2. 16歳から39歳までの方については、どれくらいの回数を見込んでいるのか。

A 2. 人口としては、約2万人の方が対象であり、基礎疾患のない方については、8月31日から予約を受け付けていくことになる。ただ、一部報道されているとおり、個別接種と集団接種については、ファイザー社のワクチンを使用しているが、7月から供給されるワクチンがこれまでよりも減った状態で供給されてくることになっている。今後、どれくらい供給されてくるのか見通しが示されていない現状であることから、どのような体制が組めるのかについては、状況を見極めていく必要がある。

Q 3. 幼稚園や保育園等に従事する方への先行接種は、いつ頃開始となるのか。

A 3. 先行接種の予定については、幼稚園・保育園・認定こども園等従事者約800名は、6月から8月にかけて、介護保険居宅サービス事業者約200名や障がい者通所施設の従事者約100名は7月から8月にかけて、射水市民病院と真生会富山病院での接種を予定している。小中学校教職員等約800名については、7月から8月にかけて県の特設会場であるホテルニューオータニ高岡（高岡会場）で接種を受けていただく予定となっている。また、教育委員会関係では学校調理員や放課後児童クラブ・放課後子ども教室等約400名は7月から8月にかけて、射水市民病院と真生会富山病院で接種を受けていただく予定としている。

Q 4. ひとり親世帯の方については、いつから予約受付となるのか。

A 4. 16歳から39歳の方については、8月31日から予約受付を開始する予定であるが、これに先行して別枠で7月中旬から予約受付を開始できるよう現在体制を整えている。

Q 5. 市長のタウンミーティングについて、新総合計画の策定を1年前倒しされるということは、DXなど踏まえてのことだと思うが、テーマ説明の中で特にDXや別の関係で説明されることはあるのか。

A 5. テーマ説明については、まずはこれまで取り組んできた第2次総合計画の内容や具体的な取組や実績について少し触れさせていただきながら、これからの時代の中で(DXを)念頭におきながら施策に取り組んでいかなければならないため、そうした課題などについてお話をさせていただきご意見を伺うことになる。その中でデジタル通信技術の飛躍的な進展などにも触れさせていただきたいと考えている。しかしながら市がDXを推進していく上で、具体的なことは、8月の段階ではまだお示しできる状況にはないことから、タウンミーティングでは、情報通信技術を活用しながら市民生活の利便性の向上、また住みやすさを実感していただきながら快適に暮らしていける、そういった住環境づくりに努めていくというようなお話をさせていただくことになる。

Q 6. 新型コロナウイルスワクチン接種について、対象年齢の下限が12歳に引き下げられたことについて伺いたい。

A 6. 元々下限が16歳ということで準備を進めていた関係上、接種券については16歳まで発送しており、12歳までの方への接種券については準備ができ次第発送することになる。12歳から15歳までの方の接種については文部科学省からの通知の中でも色々とお話があったが、市としては学校での集団接種は今のところ考えていない。その代わりに、市内の小児科の個人病院・クリニックに協力を依頼して、それぞれの小児科の医療機関でも接種を受けられるように医師会に要請している。

Q 7. 成人式が9月に開催されることを見越して、新成人への積極的な新型コロナウイルスワクチン接種の呼びかけを行う予定はあるのか。

A 7. 対象の年齢の方については8月31日から予約を受け付けるので、9月の半ばに予定している成人式までに2回目の接種を終えていただくことは、今の射水市の体制ではスケジュール的に難しい。そのため、成人式に参加される新成人の方々への積極的な呼びかけは今のところ考えていない。成人式については、感染防止対策を徹底した上で開催したい。

Q 8. 若い世代には副反応を懸念して新型コロナウイルスワクチン接種を迷っている人が多いといわれることについて意見を伺いたい。

A 8. 特に2回目の接種を終えたあと発熱や体調不良がみられるのは若い方に多いのではないかとされていることもあり、接種を見合わせようかと考えている方もおられるであろうと認識している。ワクチン接種は、個人の希望・意思で受けていただくことになるので、決して無理強いするものではない。ただ、個人が免疫を獲得して重症化を防ぐほか、全体で7割の方が免疫を獲得することによって感染拡大を抑えることができるといわれているので、新型コロナウイルス感染症の影響を少しでも早く収束させるという意味からもワクチン接種が重要であることをご理解いただき、希望される方については接種を受けていただきたい。

Q 9. 7月4日投開票の高岡市長選挙に対するスタンスについて伺いたい。

A 9. 高岡市の自民党・党本部から推薦を受けている方にげき文を贈った。出陣式などについては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ということで出席を見合わせている。あくまでも高岡市民の皆さんが自分たちのふるさと・地域の未来を考えてそれぞれの候補の訴えを聞きながら、よりよい未来に向けて投票されるのが良いのではないかと思います。

Q 10. 高岡市長選挙の3人の候補者とこれまで接点があったか伺いたい。

A 10. 米谷氏については、小杉高校の校長を務めておられた際に様々な交流をさせていただいた。ちょうど当時小杉高校の柔道部が全国の中でも上位の成績を収めていて、壮行会でもお話をさせていただいた。その後高岡高校の校長も務められ、ご本人も私も同校の卒業生ということからも様々な交流をさせていただいた。角田氏については、高岡市議会議員を務めておられたということで、様々な機会にお会いしたりお話ししたりすることがあった。非常にお若くパワフルでエネルギー溢れる方だと思っている。出町氏については、知り合いを介して会食をさせていただく機会があり、その際にも全国で様々なまちづくりの事例をみてこられたお話しやふるさと高岡市についての思いを聞かせていただいた。

Q 1 1. 若い世代のほうが新型コロナウイルスワクチン接種に消極的だと言われているが、若い世代が接種しやすくなるような取り組みを考えているか伺いたい。

A 1 1. 報道やネットの情報で言われている副反応などについては、改めて正しい情報をしっかりお知らせする必要があり、12歳～15歳の方へ接種券を送る際に、副作用の事例や厚生労働省から出されている確認事項を記載したチラシを同封して、保護者の方と相談した上で希望される場合は予約をしていただけるような取組を考えている。それぞれの学校においては、接種を勧奨するというよりは、接種をした、しないで差別のようなことが起きないように、接種はあくまでも個人の希望であり、マスクの着用や手指消毒、手洗いなどの基本的な感染防止対策が大事なのだということをお話ししていただけるよう、教育委員会と連携していきたい。また、この冬、インフルエンザのワクチン接種に対する補助事業を行ったが、無料だったにも関わらず、12歳～15歳の方々の接種率が55パーセントほどであったため、新型コロナウイルスワクチンについても、それほど接種の割合が高くないのではないかと心配がある。状況を見ながら、必要な情報が不足しているのであれば、新たな情報提供についても考えていきたい。

Q 1 2. 新型コロナウイルスワクチンの予約率がかなり高く、今のところあまり枠がないということについて、ワクチンの供給量自体が追い付いていないからなのか、それとも量はある程度あるが、医療機関での受入体制の調整が難しいからなのか。

A 1 2. 元々65歳以上の方の接種を進めていく中で、6週間を1つのクールとしてとらえると、65歳以上の接種が終わった後、第2クールの残りの部分が8000回ほどあるので、それを基礎疾患のある方と40～64歳の方の予約に充てる予定だった。確かに国からのワクチンの供給量がもう少しあればもう少し予約を受けられたかもしれないが、それほど大きな影響ではなく、あくまでも限られた枠で元々予約を受け付けることにしていたのが定員に達したということである。それよりも、今後の第3クールの予約の枠については国からのワクチン供給状況によってはこれまでよりも少ない予約枠を設定する可能性がある。